

女と男いきいきネット

ひと ひと
女と男いきいきネットワーク久喜・通信第30号 2019, 1, 30 発行

公開
学羽白会



十一月二十二日、女と男いきいきネットワーク久喜学習部による公開学習会が開かれ、講師・石川大我(たいが)さんからお話を伺いました。

石川大我さんとは？

石川さんは、一九七四年七月の東京都生まれ。二十五歳になるまでご自分と同じ同性愛者に出会わずに過ごしましたが、それはLGBTに対する世間の差別的な側面を内面化して自己否定的になり、自分をゲイである・LGBTの当事者であるということに認めたくないばかりに、心を閉ざしてしまっただけという状況だったのかなど、当手を振り返ります。一九九九年、インターネットを通じて同じ仲間に出会い、元氣と勇氣をもらい、

「LGBTなどの性的マイノリティを取り巻く問題について、東京都の人権尊重条例など自治体施策を通して考える」

講師 石川 大我 さん(豊島区議会議員)

NGOやNPOでLGBTの擁護活動を始めました。

以降、ゲイユースのための友達づくりNPO法人『ピアフレンズ』を設立し、孤立するゲイユースのためのサポートを行い、二〇一一年には東京都豊島区議会議員選挙にゲイであることをオープンにして出馬し、日本初のオープンリーゲイ議員として当選しました。現在、二期目ですが、LGBT当事者の自治体議員五人で議員連盟を作り、北海道から九州まで三百人近い地方議員が集まり、LGBTの学習会等を行っているそうです。

LGBTは命の問題

L||レスビアン(女性同性愛者)、G||ゲイ(男性同性愛者)、B||バイセクシャル(両

性愛者)、T||トランスジェンダー(性的違和のある人、性同一性障がい)について、石川さんは次のように述べました。
① LGBTは、生まれながらの特性であるので、全国どこの自治体にも産まれてくる。
↓他人事ではない。↓人口の8%いる。↓すべての自治体で取り組むべき問題である。



② LGBTの問題は、自殺率

が高いということ、命の問題である。↓子や孫、親戚を守るということ。↓地域の仲間を守るということである。

③ 多様性(ダイバーシティ)

を尊重する街は、みんなが暮らしやすい街である。

《人口の8%》ということ

は、日本の人口一億二七〇〇人に対して一〇一六万人程であり、《自殺率が高い》という点では、一般の男性に対してゲイ・バイセクシャルの男性の自殺念慮率は六倍高いというデータがあるそうです。とくに中高生の学齢期にゲイであることを自覚し自殺を考えた人が多いというデータもあり、これは何も正確な情報・肯定的な情報がない中で一人悩み自殺を考えてしまう状況に追い込まれてしまうのだ、ということ、だからこそ、石川さんは十代二十代の当事者をつなげるペアフレンズというNGO/NPOの活動に力を入れてきたのです。

LGBTが抱える困難

LGBTの抱える困難さについて、法整備を推進する

『LGBT法連合会』が『性的指向および性自認を理由とするわたしたちが社会で直面する困難のリスト』について二六四事例を報告しています。

例えば、

※自分の性別に違和感があることを教員に相談したところ、「そんな風だと堅気の仕事に就けないぞ」とたしなめられた。

※同性の友達にラブレターを出したところ、相手の親が学校に通報したため、教員に呼び出されてとがめられた。

※性的指向について、教員や同級生がおかしいものだと言ったり、「うちの学校にはいい」と言われ、何も言い返すことができなかった。

等々。学校で職場で家族の中で社会の中で、様々な差別と偏見により困難を抱え生きているLGBTの姿が浮かび上がってきます。

『ソギハラ』という言葉

近年『セクハラ・パワハラ・マタハラ』という言葉は

認知されてきましたが、石川さんは「今度は『ソギハラ』という言葉が流行らせよう！」と呼びかけます。

ソ||S O (sexual orientation

性的指向)

ギ||G I (gender identity

性自認)

どうなのが「ソギハラ||S O G Iハラメント」になるかという、次のような事例があります。

※通産省で、男性から女性へのトランスジェンダーに対して上司による「男に戻ったらどうか」との発言や、人事異動、女性トイレの禁止などの差別的処遇があった。

※愛知ヤクルト工場で、家庭裁判所で女性名への変更を認められた男性が、複数回会社から全従業員に対するカミングアウトと説明を強いられ、

男性は適応障害を発症、うつ病と診断され休職した。復職

後も嫌がらせや不当な配置転換があった。

※学校で、教師に「ゲイとして生きると告げる」とみんなの前でカミングアウトすることを強要された。

※一橋大学法科大学院に通う男子Aが、想いを寄せていた男子同級生Bに告白したが、

Bは断り、その後SNS上にAが同性愛者であることを書き込んだ。そのためAは心療内科に通院。後日、授業を抜け出し大学内で転落死した。

これらのソギハラを防ぐための動きとして、二〇一六年厚労省が男女雇用機会均等法に基づく民間企業向けの指針(セクハラ防止指針)を改定し、



議員 治体



LGBTなどの性的少数者がセクハラ被害者の対象となることを明記しました。また、二〇一〇七年には人事院が省庁におけるセクハラ防止に関する運用通知を改め、「LGBTなど性的少数者に関する偏見に基づく言動やからかいもセクハラにあたる」と明記しました。

これらに関し、石川さんは「少しずつだが社会が変化している」と話されました。

世界の動き

LGBTの動きは、一九六九年六月二十八日のニューヨ

ークに始まります。微罪でゲイを逮捕し、翌日の新聞に顔写真が出ると会社を首になるという嫌がらせが続き、それに反抗したのが六月二十八日で「ストーンウォールインの反乱」と言われます。そして、そこから擁護の運動が始まり、WHOは一九九〇年、同性愛を疾病分類から外しました。

男性同士・女性同士のパートナーシップが出来るのが一九八九年。デンマークで初めて法的保障ができましたが、結婚と分けてのパートナーシップだったため、それでは平等ではないということ。二〇〇一年同性婚がオランダでできました。アメリカでは、二〇一五年「同性間の婚姻を認めないのは法の下の平等に反する」という判決が出て、全米で同性間の結婚が合法になりました。現在、G7で同性婚を認めていないのはロシアと日本だけだそうです。

自治体での動き

一方で、オリンピック憲章

の中に「性的指向を理由とする差別禁止」がうたわれてるので、オリンピックを機に東京都人権条例を制定しようという動きとなり、昨年十月に『東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念を実現のための条例』が成立し、都・都民・事業者に対する差別禁止が入りました。

また、二〇一五年に渋谷区、世田谷区でスタートした『同性パートナーシップ制度』は、現在九つの自治体(渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市、大阪市、福岡市、中野区)で施行されています。この制度は、同性カップルやLGBTへの差別や偏見の解消、及び同性カップルのこれまで阻んできた社会的制約の緩和、権利擁護と拡大を目的としています。同性カップルはパートナーシップ証明書を取得することで、住居の賃貸契約や病院の面会、生命保険の受取人指定、会社の家族住宅手当や慶弔休暇の申請等に活用できます。この制度は、石川さんが議

員活動する豊島区でも二〇一九年に条例として制定されるそう(条例としては渋谷区に続き二例目)、続いて千葉市(今年一月に施行)、さいたま市でも動きがあります。

逆力ミングアウト

最後に石川さんは、私たちに以下のことを訴えました。

★男性に「彼女は？」女性に

「彼は？」ではなく、彼彼女のところを「パートナー」と

変えるだけでLGBTの当事者は救われる。小さなところから始めよう！

★LGBTがいる、いるかも知れないと思うことが大切。

★受け身ではなく、こちらからフレンドリーなサインを出しほしい。(逆力ミングアウト)

★誰もが当事者になる可能性がある。加害者にならないようにしてほしい。

また、「久喜にも8%のLGBTがいるのは事実。ぜひパートナーシップ条例に取り組んでください。」と付け加えられました。(文責・進藤)

団体紹介

特定非営利活動法人

子育てステーションたんぼぼ

代表 内海 弘美

私たちは「地域で子育て」をモットーに、子育て支援と地域活動をしています。久喜駅前のクッキープラザで認可

保育園「たんぼぼ保育園」子育て支援センター「クッキー子ども広場」また、久喜市南で認可外保育園「たんぼぼルーム」を開設しています。

最近では、クッキープラザとコラボしてクッキープラザでのイベントも開催しています。ハロウィンでは、仮装した親子の撮影会を行い「仮装大賞」を選びました。仮装をしてみんなでキャンディーを集めたり、サイコロを振って

出た目のトイレットペーパーをゲットしたり：楽しく過ごしました。二月十三日

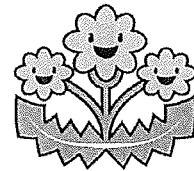


可能です。久喜の子育て家族の支援を様々な方面から考えようとパパ・ママのご意見を募集中です。

十五日は、バレンタインのイベントを開催予定です。たんぼぼバザーで、子供用品のリースイクルとハンドメイドの販売、またチョコレートのお取りやサイコロゲームなども開催します。ポスターなどで時間等内容をお確かめの上ご来場をお待ちしています。

たんぼぼ保育園は、久喜駅直結の保育園として通勤の際にはとても便利にご利用いただけます。子育て支援センターでは親子のイベントの開催、子育て相談も随時可能です。また、たんぼぼルームでは一時保育の予約を受け付けています。仕事以外でも病院の通院時や買い物、美容院の際の一時預かりもお受けします。また、ランチャやスポーツなどリフレッシュでのご利用も

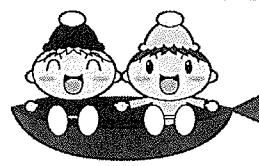
ご意見・ご要望をお待ちしています。地域とともに楽しく子育てしましょう。



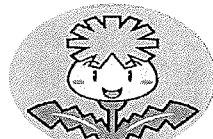
たんぼぼ

認可保育園「たんぼぼ保育園」は、子ども達と楽しく過ごす保育園です。0480-21-8825

子育て支援センター
クッキー子ども広場



子育て支援センター「クッキー子ども広場」で、子育てについて一緒に考えませんか。0480-23-1133



たんぼぼ
ルーム

認可外保育園「たんぼぼルーム」は、月極・一時保育随時受中！！0480-77-1391



ママと子どもと一緒に遊べる子育てコミュニティです。

【編集後記】

●今日の埼玉新聞に、「戸田市立東中学校ではこの四月から新しい制服に切り替え、女子はスカートとズボンの両方から選べるほか、男子もズボンのほかスカートも可能になる」という記事が載っていた。それに対する我が娘のコメント。「少しずつジエングーの壁が取り除かれていくのはいいことだと思う。今は女子がズボンは当たり前だけど、男子でスカートは、周囲の目云々以前にまず履きたいと思う人が少ないのが現状。それが当たり前で育ってきたから。その価値観が少しずつでも変わっていけばいいと思う。男の子だってプリキュアになれる。」—東中学校では、小学生のアンケート、生徒会・PTAでの話し合い等、長い時間をかけて論議し決定した。スカートをはく男子が当たり前の時代、多様に生きられる時代も、もうすぐだ！ (S)

【発行】

女と男いきいきネットワーク久喜
代表 内海弘美(21)8825